

多くのガ(蛾)の成虫は、初夏から夏にかけて活動します。しかし、晩秋に活動する種類もあります。ヒメヤマユやウスタビガがその代表種です。先日も北軽井沢の森に仕掛けた「ライトトラップ」に、小さな緑色のガを見つけました。

体は小さいですが、これは「ケンモンミドリキリガ」という長い和名のガです。漢字では「剣紋緑冬夜蛾」と書きます。「翅の下のほうに剣のような紋がある、緑色の冬の夜の蛾」という意味なのでしょう。こんな小さなガが、すでに明け方には5℃以下になるような時期に羽化して、どうやって生きていくのか不思議です。

模様は「ウメノキゴケ」という地衣類に似ていて、その擬態なのかも知れません。指先で触ると、そのまま地面に落下しました。これは「擬死(死んだふり)」という行動のようです。晩秋から冬に活動するキリガ(冬夜蛾)の仲間は、日本に約70種類もいるのだそうです。今後は気を付けて観察してみようと思います。

(2023年10月中旬/北軽井沢)

